

## 氷ノ山

山行日：2019年5月26日（日）天気：晴れ

メンバー：CL：Ma、SL：Ya、記録I、会計Na、I、Te、O、Ku

Fu、Mo、So、U（シリウス）、Ku（弥生）13人

コース：5:00 田井ノ瀬駐車場⇒8:00 福定親水公園⇒8:20 福定親水公園出発⇒  
9:10 地蔵堂⇒10:10 氷ノ山越え 11:25⇒氷ノ山（昼食休憩）12:05 下山  
開始⇒12:30 神大ヒュッテ⇒14:00 東尾根避難小屋⇒14:30 林道⇒  
18:50 田井ノ瀬駐車場着

### 〈Fuの報告〉

氷ノ山は鳥取、兵庫の県境にある兵庫県の最高峰。孤高の人のモデルと成った加藤文太郎のゆかりの山で一度は行ってみたいと思っていました。厳冬期の雪山トレーニングで一夜を過ごしたという地蔵堂はどんなところか気に成っていましたが、当時はともかく思いのほか広く須弥壇？には脇侍が2体、中央にお地藏さんが鎮座されていました。

三台の車に分乗し紀ノ川中洲駐車場を発ったのが午前5時、阪和道、中国道、北近畿豊岡自動車経由、八鹿氷ノ山インターで降り福定親水公園駐車場到着が8時。身支度をし登山開始が8時20分リーダーの指示で各自準備体操、ストレッチ等で体をほぐしサブリーダーYaさんの先導で入山しました。公園内の道すがらレンゲツツジの花、伽羅木等が指呼出来多くの花に出会えるか期待が膨らみます。登山道は川沿いの道で少しで布滝の案内が有りちょっと寄り道です、遊歩道橋から見上げると新緑の間に少しの瀑布が見えました。広葉樹の森は小鳥のさえずりと水音で愉しく歩けます。のぞきの滝、不動滝(別名くの字滝)、は若葉が茂り確認できずでした。28曲りの標識からは傾斜が強く成りジグザグの道を行きます、ほどなくで連樹の標識です。奇妙に絡まった一本の木が有り各々番号が打ってありました。説明版にはホオノキ・ミズメ、コシアブラ・リョウブ・ネジキ・ナナカマド・マツブサの7本が絡み合った不思議な樹形と有りました。雑木林から杉林に変わり少し開けたところに地蔵堂が有り9時8分着小休止です。此処までに計画書に有った(あずきころがし)の場所は解りませんでした。ミズナラの巨樹の下でYaさんからコナラとの葉の違いを教わりました。とうろう岩(氷ノ山山腹に有る)、弘法ノ水、一口水、等の案内道標が有り其の都度一息つけるのは有りがたいです。氷ノ山越へは10時9分到着、10分の休憩後いよいよ縦走路に入ります。計画書では11時ですからかなりのハイペースです。

ブナの原生林は雪の影響を受けた樹木や巨木が立ち並ぶ稜線上の道での足下にはイワカガミが咲いていました。木道や小アップダウンを繰り返し右より鳥取県仙谷方面からの分岐を分け、前方に氷ノ山山頂を望みながら多数のハイカーと挨拶を交わし歩を進めます。大きな岩頭コシキ岩はパスし左側を回り込み、崩れた木段少しで一等三角点の有る氷ノ山1509mに到着です。11時18分、全員揃ったところで昼食タイム。11時50分、昼食後は山頂で記念撮影後、Yaさんの案内で千年伽羅木に寄り道し下山の途に就きました。大山の山頂一帯の天然記念物の伽羅木を想像していましたが、コチラは単独で笹原に埋もれていました。幹径60cm樹高4m程あり樹齢千年もうなずけます。山頂に戻り東尾根方面へを下りますが滑りやすい赤土交じりの急坂で、背丈以上の笹藪の道は多くのハイカーと挨拶を交わしながら下ります。古生沼、人面岩、は通過、杉の原生林である古千本を観て神戸大ヒュッテの水場で休憩。大段が原への大家コースと別れ左へ東尾根の急坂を下りました。小休止が多く成りましたが、筍採取やイワカガミ、ミヤマカタバミ、ユキザサ、スマレの花に癒されつつペースを落とし氷ノ山東尾根登山口の林道に下山しました。力の有り余っているIさんの好意に甘え駐車場までの車の回収をお願いし、我々は国際ロッジスキー場の自販機前で待機させてもらいました。インターチェンジ近くの道の駅に集合後、最終は阪和道岸和田SAで合流と言う事で、帰路の途に就き紀ノ川中洲駐車場に午後6時50分到着し解散しました。Soさん、Teさん、Oさん、運転ご苦労さんでした。Iさん有難うございました、参加の皆さんお疲れ様でした。

#### 〈Maの感想〉

いいお天気にも恵まれ、念願かなって山頂にたつことができました。山頂では高校生や家族づれなどたくさんのハイカーで賑わっていました。新緑や色々な花に癒されながら、ほぼ予定どおりに、無事林道に下山。

自転車もされているIさんはスーパーマンでしたΣ(・ω・)ノ!(@\_@

参加のみなさん有難うございました(\*^▽^\*)(^^♪☺